

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございました。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよく読んで正しく安全にご使用ください。
- お読みになった後も保管してください。
- 本機を他人に貸す場合は、取り扱い方法をよく説明し、取扱説明書をよく読むように指導してください。

改良のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

仕様変更などにより、本機のイラストや内容が一部実機と異なる場合がありますがご了承ください。

乱丁、落丁はお取り換えします。

製品アンケートご協力をお願い

より良い商品開発の参考にさせていただきますので、アンケートへのご協力をお願いいたします。



・アンケートの実施については予告なく変更・削除されることがあります。
・通信料金はお客様のご負担となります。

ESC-26U 2-STROKE

エンジン草刈機

取扱説明書（保証書付）

用途

雑草の草刈り

用途以外の目的に使用しないでください

目次

はじめに

各部の名称と付属品	2
安全上のご注意	4

準備

組み立て	11
給油	18
エンジンの始動／停止	19
スイッチの操作方法	23
運搬	24

使用方法

作業前点検	25
草を刈る	26

保守・点検

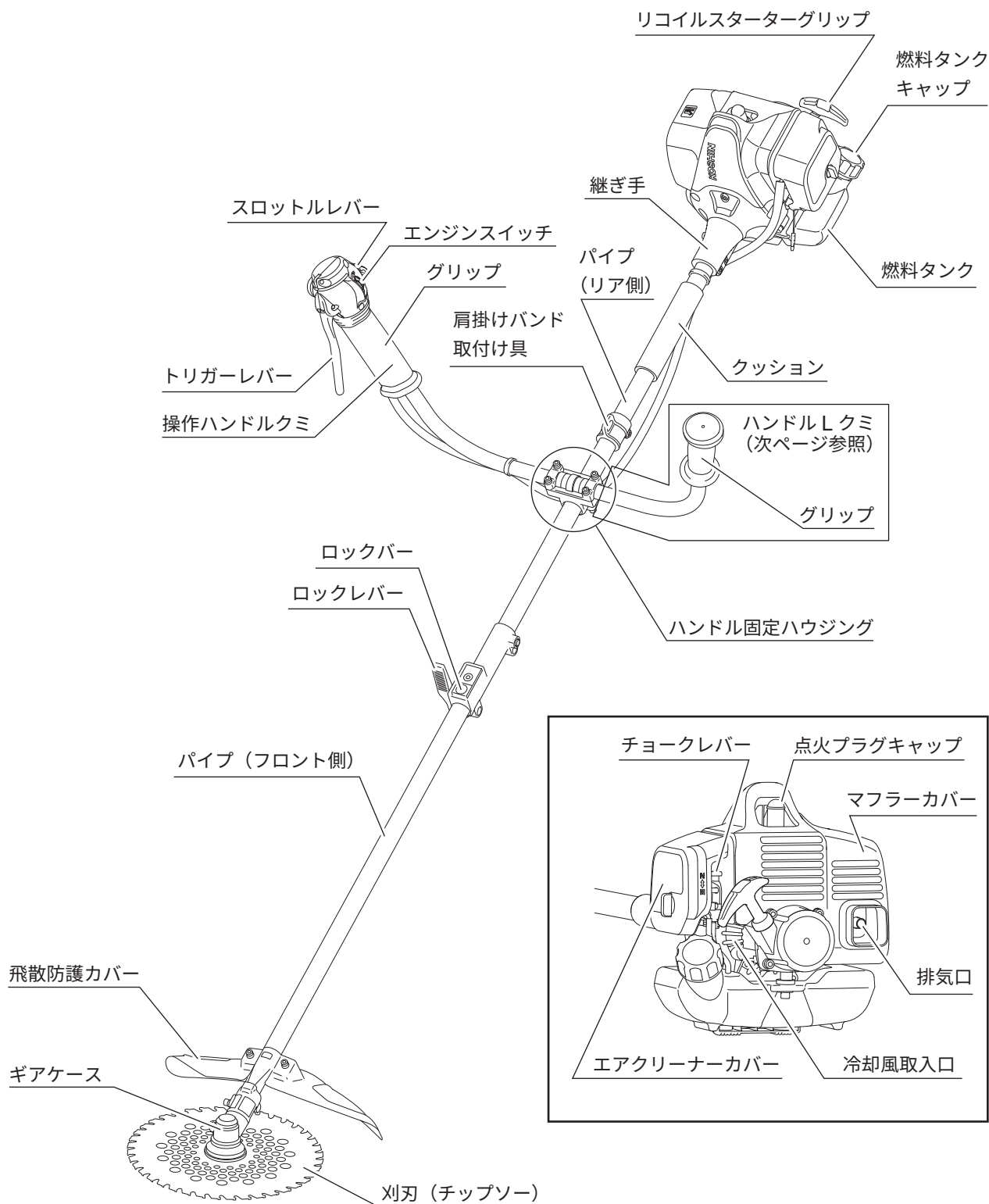
お手入れと保管	29
定期点検を行いましょ	31
「故障かな？」と思ったら（故障と処置）	32
整備	34

その他

仕様	37
パーツのご注文は	38
保証書	裏表紙

各部の名称と付属品

1. 各部の名称



⚠ 警告

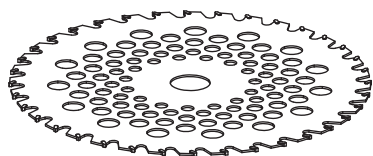


純正品以外のオプション品、交換用パーツなどは使用しない
刈刃が外れるなどしてケガをしたり、製品が故障する原因となります。
※純正品の交換用刈刃…38 ページ「3. 主なパーツ」参照

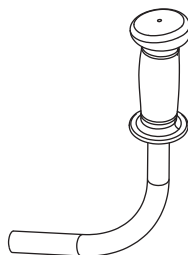
各部の名称と付属品

2. 付属品

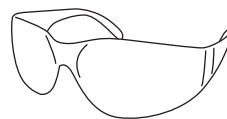
同梱されている付属品がすべてそろっているか確認してください。



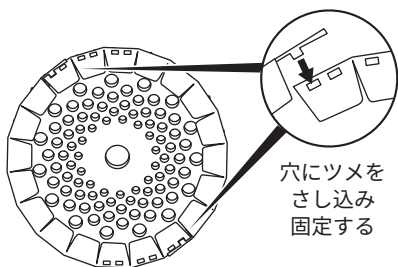
☐ 刈刃（チップソー）



☐ ハンドルレクミ

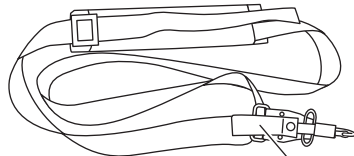


☐ 保護メガネ



☐ 刈刃カバー

本機を使用しないときに
取り付けてください。

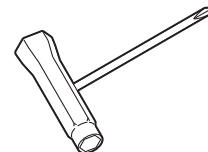


☐ 肩掛けバンド

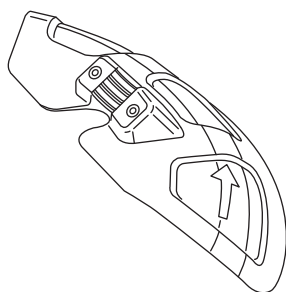
離脱ベルト



☐ 結束バンド



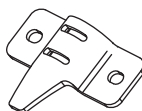
☐ プラグレンチ



☐ 飛散防護カバー

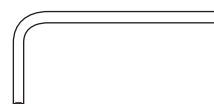


☐ 飛散防護カバー取付け用
六角穴付ボルト（M5×16 2本）



☐ 取付金具

開梱時、ボルトと取付金具は飛散防護カバーに仮止めしてあります。



☐ 六角レンチ

☐ 取扱説明書（本誌）

はじめに

準備

使用方法




保守・点検

その他

安全上のご注意

使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方や他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。


■ 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を「危険」「警告」「注意」に区分し、説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 危険	人が死亡、または重傷を負うおそれの高い内容です。
 警告	人が死亡、または重傷を負うおそれのある内容です。
 注意	人が傷害を負う、および本機やほかの財産に物的損害が発生するおそれのある内容です。








■ お守りいただく内容を区分して説明しています。

 してはいけない「禁止」の内容です。	 必ず守っていただく「実行」の内容です。
---	---

■ その他の表示

 ここがポイント！ 正しい操作のしかたや守っていただく要点などを示しています。

■ 本機に関すること

<div> 危険</div> <div>次のときは本機を使用しない<ul style="list-style-type: none">・ 疲れているとき、身体が不調のとき・ 酒類や薬を飲んで正常な運転操作ができないとき・ 夜間や悪天候などで視界が悪いとき</div> <div>作業前に半径15m以内に他の人や動物がいらないことを確認する<p>高所作業のときは、下に他の人や動物がいらないことを確認する</p></div> <div>刈刃と飛散防護カバーは純正品、指定部品を使い、指定の位置に取り付ける<p>小石の飛散など、ケガの原因になります。また、エンジンの焼きつきなどの故障の原因になります。</p></div>	<div>作業中は半径15m以内に他の人や動物を近づけない<p>2人以上の作業時はお互いに15m以上の間隔を取り、監督者は半径15m以内に人や動物などが近づいた場合に直ちに本機を停止し作業を中止するように注意する</p><p>本機を使用している人に近づくときは、使用者から15m以上離れた位置で合図し、本機の停止を確認する</p></div> <div>部品類は必ず取扱説明書に従って純正品、指定部品を指定の位置に確実に取り付ける</div> <div>離脱の際は、トリガーレバーから手を離し、本機および周囲に注意する<p>刈刃が高速回転したままで離脱すると、コントロールを失い、作業者自身または第三者が死亡あるいは重傷を負う可能性があります。</p></div>
---	--

⚠ 危険











- ⊘ 片手で作業をしない
- ⊘ 飛散防護カバーを外した状態で使用しない
小石が飛散するなど事故やケガのおそれがあります。
- ⊘ 爆発物や可燃性の液体、ガス、粉じんのある所で使用しない
本機から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
- ⊘ 刈刃を樹木やブロックなどに当てない
キックバック（跳ね返り）が起こりケガをするおそれがあります。












⚠ 警告

- ⊘ 妊娠しているときは本機を使用しない
- ❗ 作業場は明るく、また整理整頓する
作業場が暗く、また散らかっていると事故の原因になります。
- ❗ スイッチ類に異常がないか点検する
スイッチで始動および停止操作のできない場合は、使用せず修理をご依頼ください。そのまま使用すると、事故の原因になります。また、本機の寿命を縮めます。
- ⊘ 枝打ち作業・壁や岩などに生えている草刈り作業などには使用しない
- ⊘ 刈刃にひび割れ、欠け、変形、摩耗などの異常がないことを確認し、異常があるものは使用しない
異常があると刈刃が破損し、ケガの原因になります。
- ❗ 刈刃の取り付けは、刈刃の取付穴を刈受金具の凸部に確実にはめ込む
正しく取り付けしていないと異常振動し、事故の原因になります。
- ❗ 刈刃の固定ナット、刈刃固定板は消耗品のため、摩耗や変形があれば交換する


- ❗ 刈刃の取り付け、取り外しには、必ず付属のプラグレンチを使用する
付属工具以外で締め付けた場合、締め過ぎや締め付け不足となり、事故の原因になります。
- ❗ 刈刃は刃物軸最高回転数が本機の回転数よりも高い許容回転数のものを使用する
刈刃の許容回転数が低いと刈刃が破損し、事故の原因になります。
- ❗ 刈刃を取り扱う際や点検時は、必ず保護手袋を着用する
ケガの原因になります。
- ❗ 刃受金具を正しく取り付ける
刃受金具を取り付けしなかったり向きを間違えたりすると、刈刃が外れ、ケガをするおそれがあります。
- ❗ 付属品を正しく確実に取り付けてから作業を行う
- ❗ 飛散防護カバーを所定の位置に確実に取り付けてから使用する
正しく取り付けないで使用すると、飛散物を防護できないまたは効果が下がり、ケガの原因になります。
- ⊘ トリガーレバーに指をかけて運ばない
- ⊘ 本機を車に積んだまま長時間悪路を走行しない
本機の破損や事故の原因になります。
- ⊘ 本機を立てて（または、立て掛けて）運搬しない
本機が転倒し、思わぬ事故の原因となります。
- ❗ 離脱の際は、手で本機のパイプを持ちながら離脱ベルトを引く
本機を支えないで離脱ベルトを引くと本機が足の上に落ち危険です。
- ❗ 危険を感じたときは直ちにエンジンを停止し、肩掛けバンドを離脱し本機を身体から離す

警告








-  作業時は肩掛けバンドを必ず着用し、本機を正しく保持する
-  作業時以外は肩掛けバンドを本機から外す
バランスをくずして、ケガをするおそれがあります。
-  本機、付属品や工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて使用する
指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
-  作業中は、本機を両手で確実に保持する
ハンドル部は常に乾いた状態にし、手が滑らないようにする
確実に保持していないと、ケガの原因になります。
-  正しく持ち、周囲を確認し、刈刃から手や足が離れていることを確認してからトリガーレバーを握る
刈刃は高速で回転するため、危険です。ケガや事故の原因になります。
-  本機は体の右側に、両手でハンドルを保持する
-  刈刃カバーを取り付けた状態で本機を運転しない
-  雨上がりなど足元が滑りやすい所、傾斜地、ハシゴや木に登るなどの不安定な所では使用しない
無理な体勢で作業しない
ケガの原因になります。
-  作業中および運転を停止した直後は刃に手足や顔などを近づけない
刈刃はすぐに止まらないので、ケガのおそれがあります。
-  刈刃で打つ、たたくなどの方法で草刈り作業をしない
キックバック（跳ね返り）や刈刃が破損し、事故の原因になります。





-  本機が動かない、発熱や発煙、また音や振動など異常を感じたときは、直ちに使用を中止する
思わぬケガや事故の原因となります。
エンジンを停止し、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。
-  本機に幼児・子ども、動物が触れないよう、隔離措置をして安全な所で使用する
-  腰より高い位置での作業はしない
-  本機的能力に合った負荷（切断対象、運転時間など）で作業する
無理な作業は事故の原因になります。また、作業能率が悪くなります。
-  作業中に刈刃が石などの障害物に当たったときは、すぐに本機を停止させ異常がないか調べる
そのまま使用すると事故の原因になります。
-  キックバック（跳ね返り）防止のため、刈刃を右から左に操作して草刈り作業を行う
キックバック（跳ね返り）が起こると、本機が思わぬ方向に動き、ケガや事故の原因になります。
-  近くにいる人に本機が接触しないように注意する
ケガや事故の原因になります。
-  作業を始める前に刈刃からカバーを取り外す
-  作業前点検を行う
点検が不十分だと、事故の原因になります。
（25 ページ「1. 作業前点検」参照）
-  点検・整備の際は、必ず保護手袋を着用する
-  点検・整備の際は必ずエンジンを切ってから行う
本機が誤始動し、事故やケガの原因になります。

警告

-  本誌記載内容以外の分解、修理、改造をしない
異常動作してケガをする、また本機や接続機器が故障する原因になります。

注意









-  作業前にネジのゆるみや欠落した部品、破損などがないか確認し、異常がある場合は使用を中止する
不完全な状態の本機を使用するとケガの原因になります。購入店もしくは本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。
-  ぶつけたり落としたりしたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことを点検する
破損や亀裂、変形があると、ケガの原因になります。
-  万一の事故に備えて、必ず救急箱を作業場近くに備え付ける
救急箱から持ち出したものは、直ちに交換品を補充してください。
-  本機に過度の衝撃を加えない
-  休憩時や使用後、運搬、保管時は必ず刈刃カバーを取り付ける
-  無理な体勢で作業をしない
足元を安定させ、バランスを保つようにしてください。
-  定期的に休息をとる
本機は機能上、使用時に振動が発生します。このため、長時間の連続使用は体に負担をかけることがあります。また、短時間であっても、ご使用中に指や手、腕、肩などに疲れを感じる場合があります。


-  作業に合った刈刃の回転数で使用する
回転数が低すぎると雑草が絡みつくことがあります。
回転数が高すぎると運転時間が短くなるだけでなく、本機の寿命を縮める原因にもなります。
-  刈刃が地面や樹木、その他の障害物に触れていないことを確認してからトリガーレバーを握る
本機はトリガーレバーを握ると同時に刈刃が回転します。
-  屋外に長時間放置しない
-  使用後は刈刃カバーを必ず取り付ける
ケガの原因になります。

安全上のご注意

■ エンジンに関すること









危険

-  次のときは本機を使用しない
 - ・ 疲れているとき、身体が不調のとき
 - ・ 酒類や薬を飲んで正常な運転操作ができないとき
 - ・ 夜間や悪天候などで視界が悪いとき
-  高温のエンジンやマフラーに可燃物を接触させない
枯れ草などが触れると火災の原因になります。
-  建物およびほかの設置物から1 m以上離して置く
-  換気や風通しの悪い所、排気ガスがこもる所（室内、車内、テント内、トンネル内、倉庫、井戸、船倉、マンホールなど）で使用しない
エンジンの排気ガス中には有害な物質が含まれており、滞留した排気ガスによりガス中毒を起こすおそれがあります。
-  本機のまわりに危険物、燃えやすい物を置かない、近づけない
本機から出る排気ガスは熱くなるため、本機や接続機器に損傷を起こすだけでなく、思わぬ事故の原因になります。
-  本機および燃料入り携行缶は直射日光の当たる所や高温となる所に放置しない
燃料が気化して引火しやすい状態になる原因になります。
-  本機の周囲を囲ったり、箱をかぶせたりして使用しない
また、本機の上に物を載せて使用しない
事故やケガの原因になります。
-  平坦・水平で硬い所でエンジンを始動する
傾斜地でエンジンを始動しないでください。

-  燃料タンクやホースの破損、またはエンジンや燃料タンクからの燃料漏れがないか確認する

破損や燃料漏れがある場合は、直ちに本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へ修理をご依頼ください。

警告

-  レバーを握った状態でひもなどで固定しない
緊急時にブレードの回転が止まらずケガの原因になります。
-  純正品、指定部品を使用する
事故やケガの原因になります。
-  付属品を正しく確実に取り付けてから作業を行う
-  本機の組み立てや付属品を取り付ける、または取り外すときは、必ずエンジン停止状態で行う
エンジンを運転したまま行くと事故の原因になります。
-  本機を車に積んだまま長時間悪路を走行しない
本機の破損や事故の原因になります。
-  作業に適した服装で作業する
長い髪は束ね、帽子やヘアカバーなどで覆う
巻き込まれケガの原因になります。
(25ページ「2. 服装について」参照)
-  からまった草を取り除くときは必ずエンジンを停止する
不用意にブレードが回転し、ケガの原因になります。
-  雨の中や水のかかる所では使用しない
ぬれた手で操作しない
雨や水でぬれている、またはぬれた手で本機を操作すると、故障や感電の原因になります。

警告





- ❗ 本機の調子が悪いときや異常音がしたときは、直ちに使用を中止し、点検・修理を依頼する
思わぬケガや事故の原因となります。
- ❗ 作業中は、本機を両手で確実に保持する
その際、ハンドル部は常に乾いた状態にし、手が滑らないようにする
確実に保持していないと、ケガの原因になります。
- ❗ 作業中に刈刃（チップソー）が石などの障害物に当たったときは、すぐに本機を停止させ異常がないか調べる
そのまま使用すると事故の原因になります。
- ⊘ 次の所では使用しない
 - ・雨上がりなど足元が滑りやすい所
 - ・傾斜地、ハシゴや木に登るなどの不安定な所
 転倒してケガの原因になります。
- ❗ 取り扱い方法、作業のしかた、周りの状況など充分注意して慎重に作業する
- ❗ 本機的能力に合った負荷（切断対象、運転時間など）で作業する
無理な作業は事故の原因になります。
また、作業能率が悪くなります。
- ⊘ 本機を雨の中やぬれた所、湿気の多い所に保管しない。
- ❗ 本機を使用しないときは、屋内に安全に保管する
子どもの手の届かない所、湿気が少なく鍵のかかる所に保管してください。
(30 ページ「2. 保管」参照)
- ❗ 定期点検を行う
点検が不十分だと、事故の原因になります。
(31 ページ「定期点検を行いましょう」参照)

- ⊘ 修理技術者を除き、取扱説明書に記載の内容以外の分解や修理、改造は絶対に行わない
異常作動してケガの原因になります。
- ❗ 飛散防護カバーを所定の位置に確実に取り付けてから使用する
正しく取り付けないで使用すると、飛散物を防護できないまたは効果が下がり、ケガの原因になります。
- ❗ 作業中およびエンジン停止直後は回転部に手足や顔などを近づけない
エンジン停止直後も回転部がしばらく回っているため、ケガの原因になります。
- ❗ 点検や清掃時は必ずエンジンを停止する
誤ってエンジンが始動しないようにエンジンスイッチは「STOP」にし点火プラグキャップを取り外してください。
- ❗ 点検は平坦・水平な所で行う
- ⊘ エアクリーナーカバーなど部品類を外したまま使用しない
手や足をはさむ事故や、エンジン故障の原因になります。

注意





- ❗ 使用前にネジの緩みや欠落した部品、破損などがいないか確認し、異常がある場合は使用を中止する
不完全な状態の本機を使用するとケガの原因になります。
- ⊘ 無理な体勢で作業をしない
足元を安定させ、バランスを保つようにしてください。
- ⊘ 屋外に長時間放置しない
- ⊘ 高温のエンジン各部やマフラー、ギアケース、ブレード周辺をさわらない
ヤケドの原因になります。

注意



-  エンジン始動後はリコイルスターターグリップを引かない
エンジンが破損する原因になります。
-  点検・整備はエンジンが冷えてから行う
エンジン停止直後は、エンジンや排気口の温度が高くなっているため、ヤケドのおそれがあります。
-  エレメントをねじらない
破れてエンジン不調の原因になります。
-  エレメントを取り付けずにエンジンを運転しない
エンジンの摩耗が早まります。

■ 燃料に関すること

危険

-  燃料を抜くとき、電動式ポンプは使用しない
引火の原因になります。
-  燃料タンクに燃料が入っていて、エンジンが熱いときや気温が高いときは燃料タンクキャップを開けない
燃料が勢いよく噴出するおそれがあります。
-  エンジンが熱いときは給油しない
エンジン停止直後などエンジンが熱いときに給油すると引火のおそれがあります。
-  次のような所で給油する
 - ・ 焚き火などの火種がない
 - ・ 換気が良い
 - ・ 地面が平坦・水平で硬い

注意

-  燃料をこぼさない
こぼれた場合は、きれいに拭き取り、乾かしてからエンジンを始動してください。
拭き取った布切れなどは、火災と環境に十分に注意して処分してください。
-  燃料が皮膚や衣類にこぼれた場合は石けんと水で直ちに洗い、衣類は取り替える

取り扱いのポイント

- ・ 本機は機能上、使用時に振動が発生するため、長時間の連続使用は身体に負担をかけることがあります。
また、短時間であっても、ご使用中に指や手、腕、肩などに疲れを感じる場合があります。
- ・ 極端な高温や低温の環境下で使用すると、十分な性能を得ることができません。

騒音防止規制について

- ・ 騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

組み立て

作業前に必ず4 ページ「安全上のご注意」をお読みください。



ここがポイント！

- 作業前にエンジンスイッチを上スライドさせてください (STOP)。
- 保護手袋を着用してください。
- 付属品をしっかりと取り付けてから作業をしてください。

1. 飛散防護カバーの取り付け

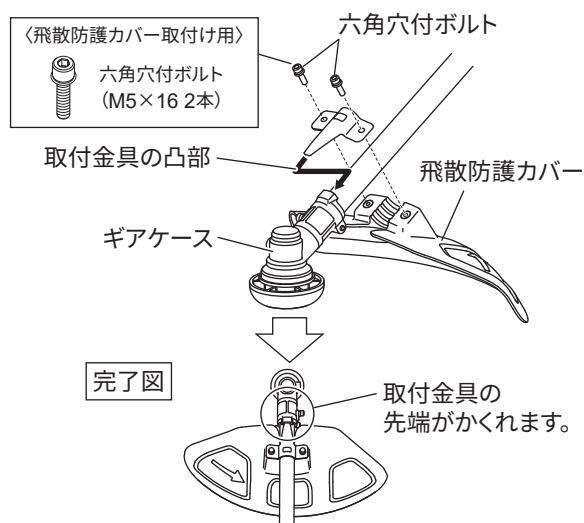
1) 飛散防護カバーと取付金具を下図のように六角穴付ボルト (2本) で仮止めする

開梱時、ボルトと取付金具は飛散防護カバーに仮止めしてあります。

取付金具がギアケースに乗り上げないようにパイプとのすき間に奥までさし込むようにしてください。

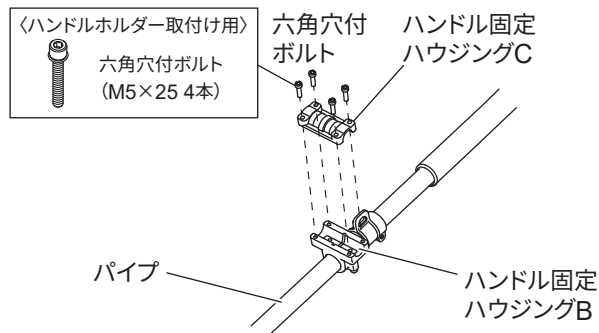
2) 仮止めした六角穴付ボルト (2本) をしっかりと締め付ける

2本とも均等に締め付けてください。



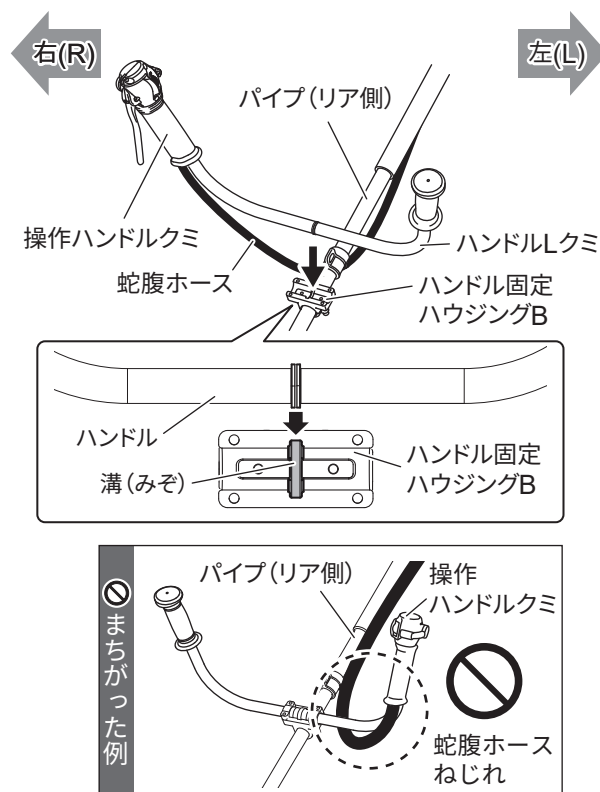
2. ハンドルの取り付け

1) 本機に仮止めされている六角穴付ボルト (4本) とハンドル固定ハウジングCを外す



2) 操作ハンドルクミとハンドルLクミを、ハンドル固定ハウジングBにのせる

図を参考に、操作パネルが右側に来てかつ作業者の方を向くよう、ハンドルの位置や向きを間違えないでください。また、蛇腹ホースがねじれないようにしてください。



はじめに

準備

使用方法

保守・点検

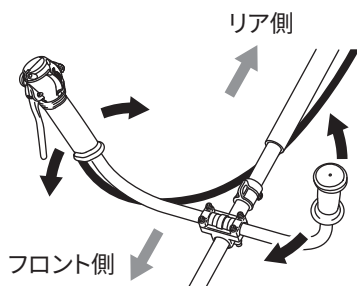
その他

組み立て

3) ハンドル固定ハウジングCを六角穴付ボルト（4本）で仮止めする

4) ハンドルを使いやすい角度に調整し、六角穴付ボルト（4本）をしっかりと締め付ける

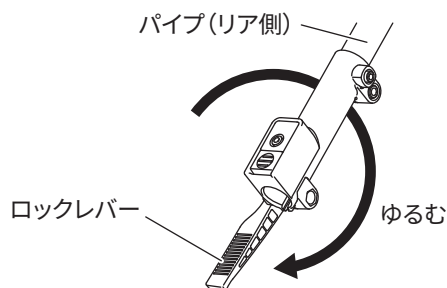
使用中にハンドルの角度が変わったり外れたりしないよう、ボルトは4本を均等にしっかりと締付けてください。



3. パイプの取り付けと取り外し

3.1 取り付け

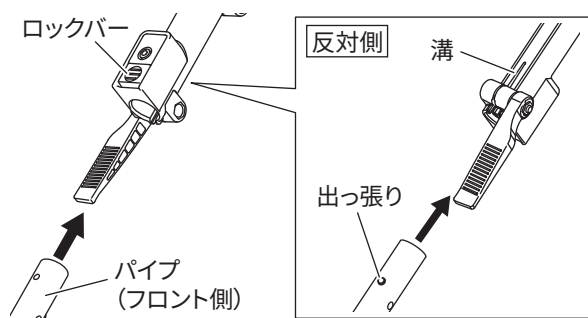
1) パイプ（リア側）のロックレバーを図の矢印の方向に止まるまで回転させ、ゆるめる



2) パイプ（フロント側）をさし込む

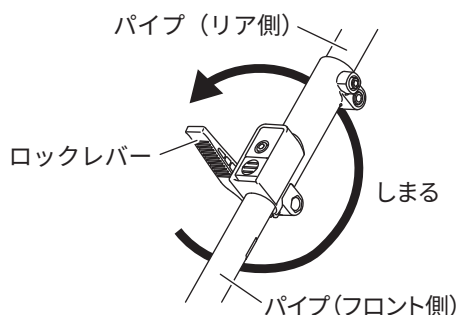
ロックバーの反対側にある溝と出っ張りを合わせて、パイプをロックバーがカチッとハマるまでさし込んで下さい。

ロックバーがはまらない場合はパイプの出っ張りを溝の中で回転方向に小さく揺らすと、ドライブシャフトのギアがかみ合いしっかりパイプをさし込めます。

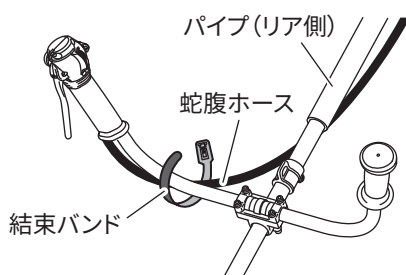


組み立て

- 3) パイプ（リア側）のロックレバーを図の矢印の方向に止まるまで回転させ締め付ける

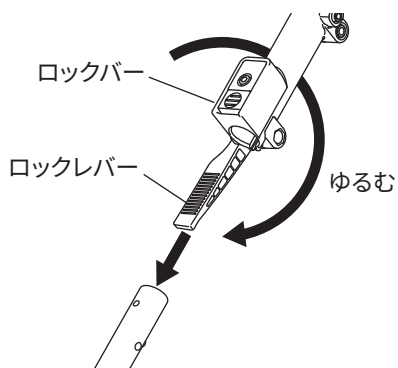


- 4) 蛇腹ホースを図の部分に結束バンドで固定する



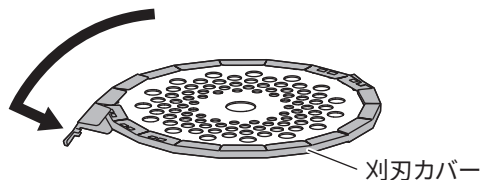
3.2 取り外し

- 1) パイプを取り外すときは、ロックレバーをゆるめたあと、ロックバーを押しながらギアケース側のパイプを引き抜く

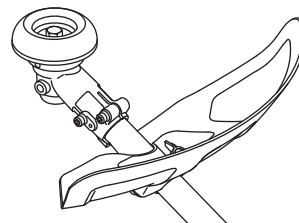


4. 刈刃（チップソー）の取り付け

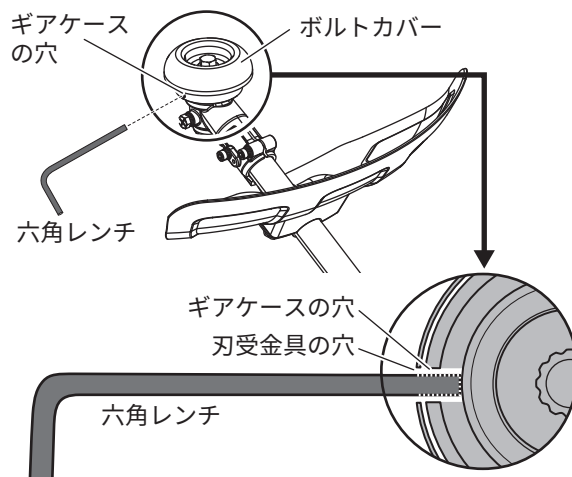
- 1) 刈刃（チップソー）に刈刃カバーを取り付ける



- 2) 刈刃（チップソー）を取り付けやすいように本機を裏返す



- 3) ギアケースの穴と、刃受金具の穴を合わせて、六角レンチをさし込み、刃受金具が回らないように固定する



ここがポイント！

- ギアケースの穴からのぞいて刃受金具の穴が見当たらない時は、ボルトカバーを回してください。刃受金具と一緒に回ること穴が見えるようになります。

はじめに

準備

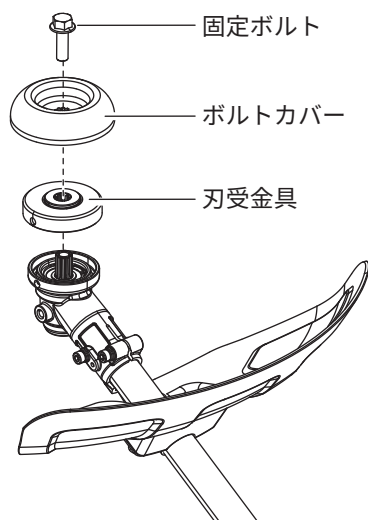
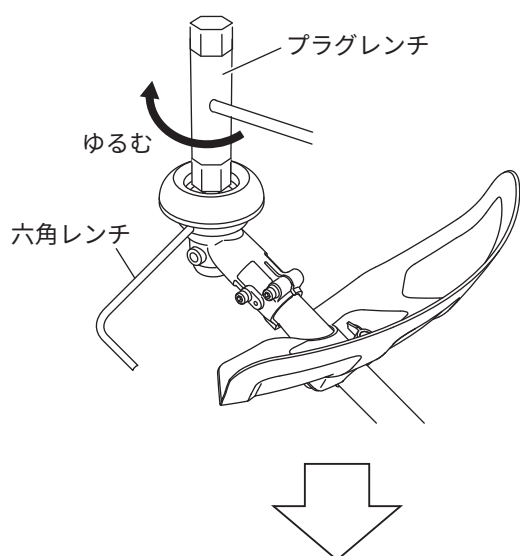
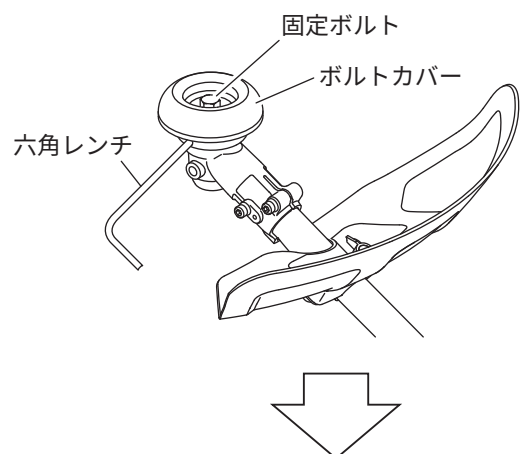
使用方法

保守・点検

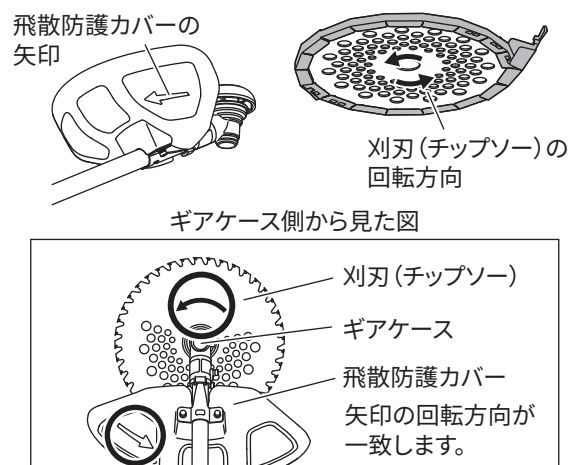
その他

組み立て

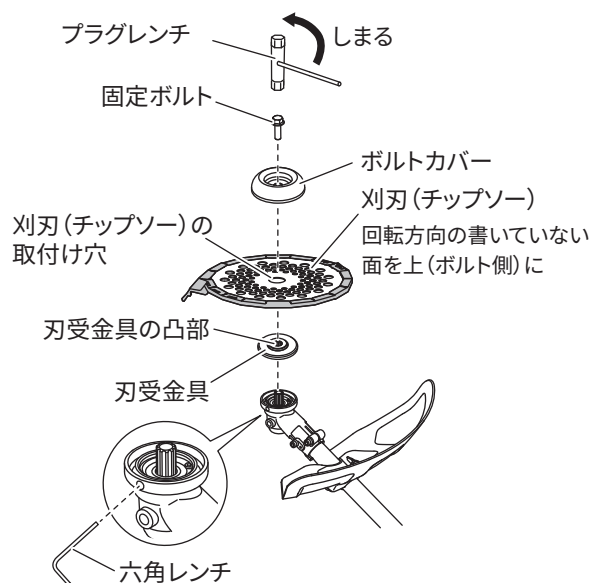
- 4) 固定ボルト（左ネジ）を付属のプラグレンチで時計回りに回して、固定ボルト、ボルトカバーを外す



- 5) 刈刃（チップソー）の回転方向と飛散防護カバーの矢印を合わせる



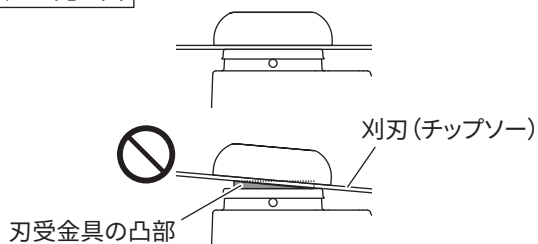
- 6) 刈刃（チップソー）の取付け穴と刃受金具の凸部を合わせて、図の順に取り付け、固定ナットを付属のプラグレンチで反時計回りに回してしっかり締め付ける



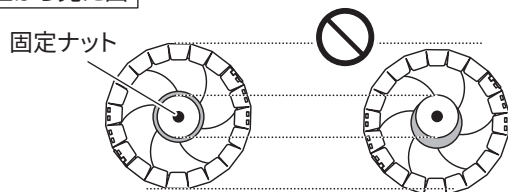
組み立て

- 7) 六角レンチを外し、刈刃（チップソー）を手で軽く回して刈刃（チップソー）の取付け穴が刃受金具の凸部からずれていないことを確認する

横から見た図



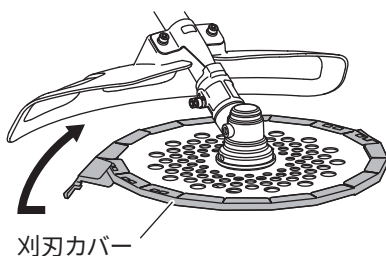
上から見た図



ここがポイント！

- 草や土が付着した状態で締め付けしないでください。異常振動や故障の原因になります。
- 刈刃（チップソー）が正しく取り付けられていないと異常振動し、ケガの原因になります。
- ずれている場合は、もう一度刈刃（チップソー）を取り付け直してください。

- 8) 草刈り作業を行うときは刈刃カバーを取り外す



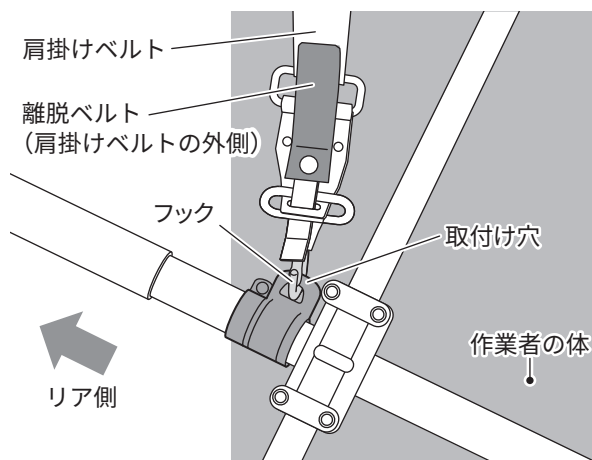
ここがポイント！

- 刈刃（チップソー）を取り外すときは、取り付け方と逆の手順で行います。

5. 肩掛けバンドの取り付け

5.1 取り付け

- 1) 肩掛けバンドのフックを肩掛けバンド取付け具の取付け穴に通す



- 2) 軽く肩掛けバンドを引いてフックが外れたり、本機が落下しないかを確認する

はじめに

準備

使用方法

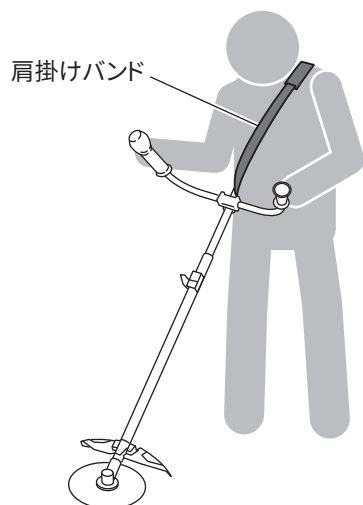
保守・点検

その他

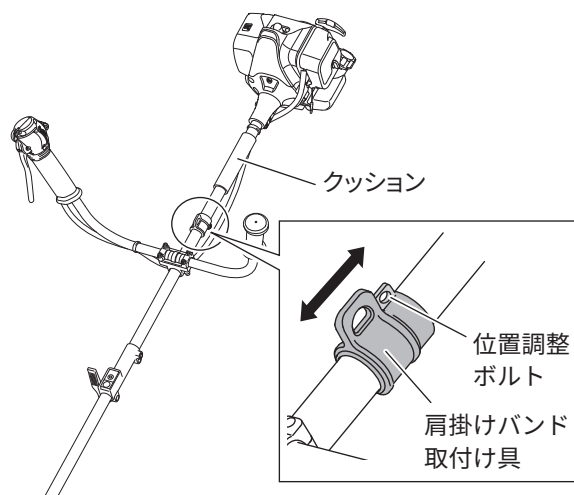
組み立て

5.2 調整

肩掛けバンドを左肩に掛けて着用し、両手でハンドルを保持してください。刈刃（チップソー）が地面から数センチの高さになるように、肩掛けバンドのストラップの長さを取り付け位置を調整してください。

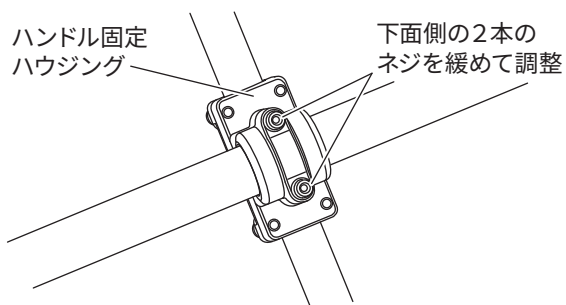


- 1) 付属の六角レンチで肩掛けバンド取付け具の位置調整ボルトをゆるめて取り付け位置を調整する



ここがポイント！

- ハンドルから手を離したときに刈刃/ギアケース側が浮き上がらないよう調整してください。ケガの原因になります。
- 刈刃（チップソー）の高さは、ハンドル固定ハウジングの位置の変更により調整することも可能です。

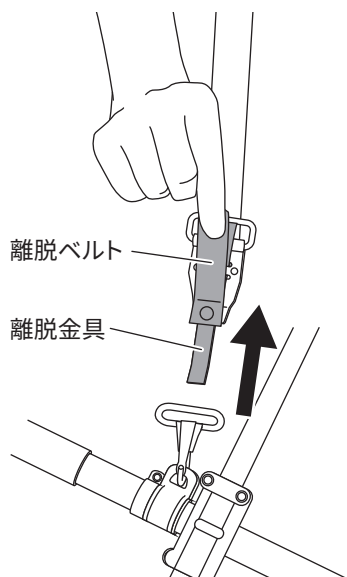


- クッションは左右にねじりながら動かすと位置調整しやすくなります。

- 2) 付け位置を調整したら位置調整ボルトをしっかりと締め付ける

5.3 離脱のしかた

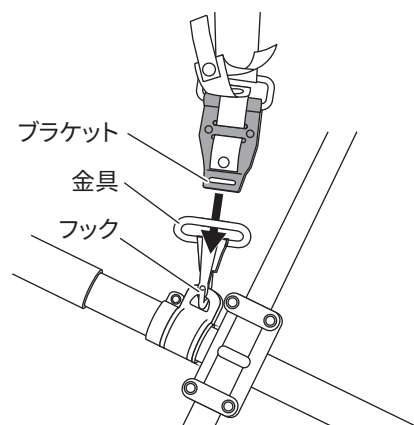
緊急時はスイッチレバーから手を離し、パイプを持ちながら離脱ベルトを持ち、図のように上に引いてください。



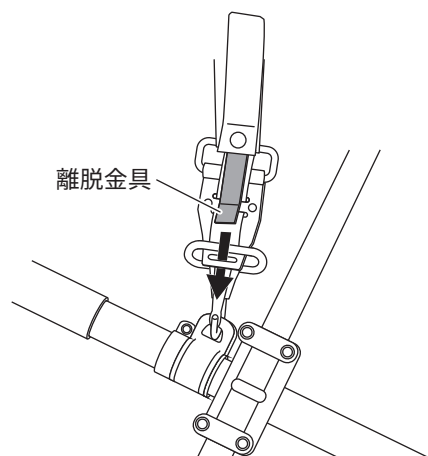
5.4 結合のしかた

離脱した後は、図のようにバンドを結合してください。

1) フックの金具部分にブラケットの先をさし込む



2) 離脱金具をフックの金具部分の上になるようにしてブラケットの長穴にさし込む



給油

作業前に必ず4 ページ「安全上のご注意」をお読みください。
本機には「混合燃料」が必要です。必ず給油してからご使用ください。

- 燃料：37 ページ「1. 主な仕様」参照
- 混合済みの市販品をご使用になるとき
農機店、ホームセンター、ガソリンスタンドなどでご購入ください。
- ご自身で混合されるとき
大量に混合せず、一度の作業に必要な量だけ準備してください。燃料を長期（1か月以上）保管すると変質しエンジン始動不良や故障の原因になります。

混合表（50:1 《2%》）

ガソリン	1 L	2 L	3 L	4 L	5 L
オイル	20 mL	40 mL	60 mL	80 mL	100 mL

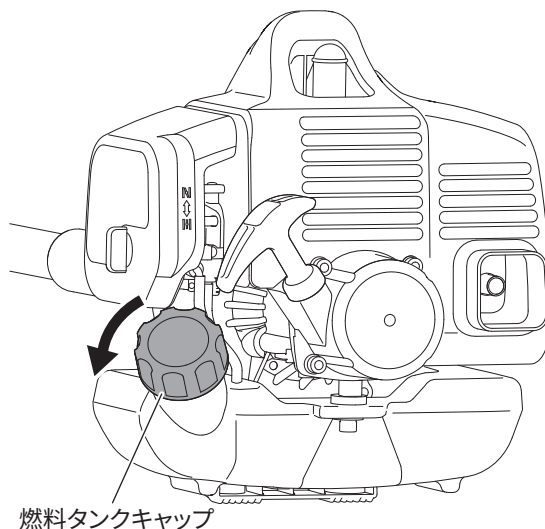


ここがポイント！

- 混合比や使用オイルは必ず種類を守ってください。エンジン故障の原因になります。
- 古い燃料は使用しないでください。燃料携行缶などで長期保管した燃料は、エンジン始動不良や故障の原因になります。
- 燃料を一時的に保管・運搬するときは、消防法に適合した燃料携行缶を使用してください。灯油かん（通称：ポリ缶）やペットボトルに保管しないでください。燃料内に成分が溶け出し、エンジンに悪影響を及ぼすおそれがあります。

1) エンジン停止状態で、冷えていることを確認する

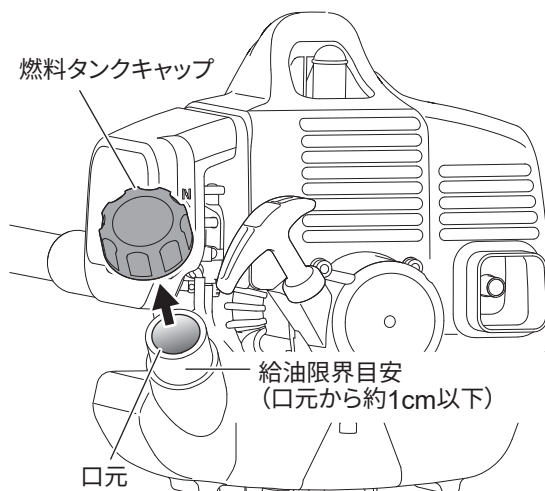
2) 燃料タンクキャップを少し緩め、燃料タンク内と外部の気圧差を無くす



3) 燃料タンクキャップを外す

4) 燃料をゆっくり、給油限界目安まで給油する

入れ過ぎると、燃料タンクキャップからにじみ出る原因になります。



ここがポイント！

- 燃料タンク内に水、雪、ゴミが入らないようにしてください

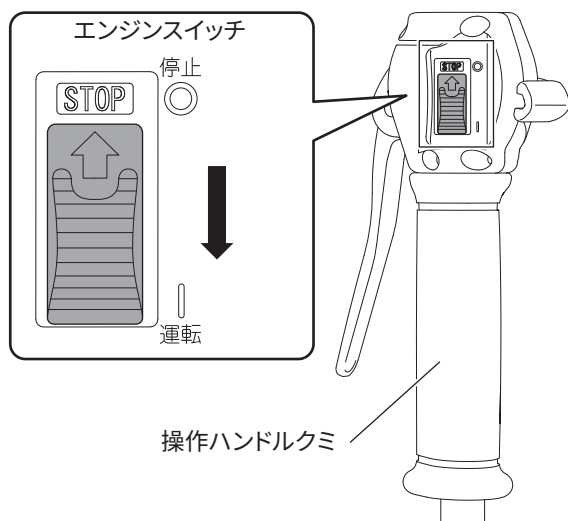
5) 燃料タンクキャップを取り付け、確実に締め付ける

エンジンの始動／停止

作業前に必ず4 ページ「安全上のご注意」をお読みください。

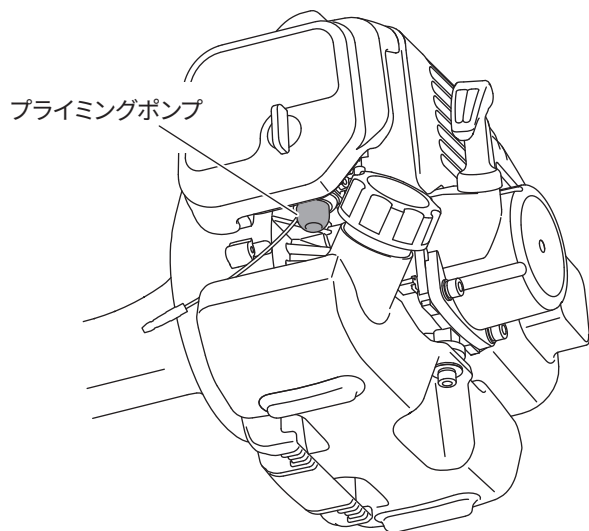
1. 始動

1) 操作ハンドルにある、エンジンスイッチを下にスライドさせる



2) プライミングポンプを約10回指で押す

エンジンの始動系統に燃料が供給されます。



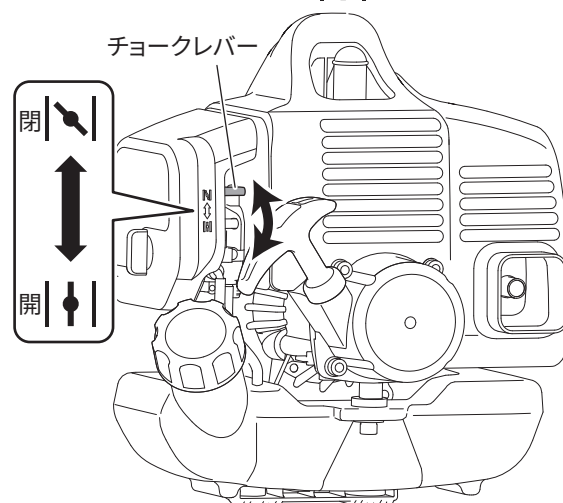
ここがポイント！

- 本エンジンはプライミングポンプ操作を行ったとき、余分な燃料はタンクに戻る構造になっています。プライミングポンプ操作を多く行っても吸い込み過ぎにはなりません。むしろ少ない場合には始動不良になることがありますので、充分行ってください。

- エンジンの一時停止直後はプライミングポンプを押す必要はありません。

3) チョークレバーの操作1

- 寒いときや、エンジンが冷えているとき：
チョークレバーを上（閉）にする
- 暑いときや、エンジンの一時停止直後などエンジンが暖まっているとき：
チョークレバーを下（開）にする



はじめに

準備

使用方法

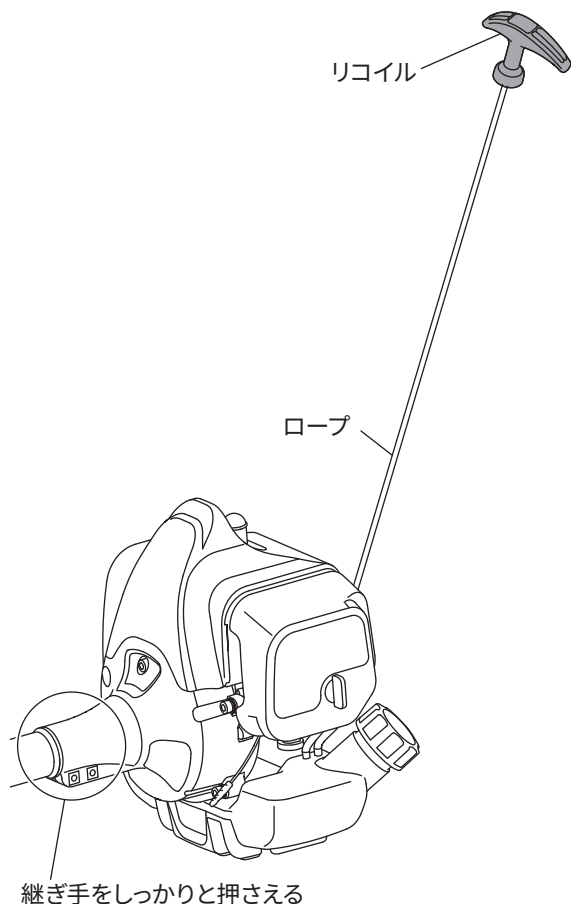
保守・点検

その他

エンジンの始動／停止

4) 次のことに注意しながら、リコイルスターターグリップ（以下「リコイル」）を数回引く

- リコイルは図のように、軽い力で一度に長くロープを引き出す。
- 刈刃（チップソー）ブレードに足や物が触れないよう充分に距離を取る。



6) リコイルをゆっくりと元に戻す



ここがポイント！


エンジン始動後、本機が不用意に動くと危険なので、ハンドル等を握り動かないように抑えてください。

7) 約1分間、暖気運転をする

トリガーレバーは握らないでください（アイドリング運転）。

暖気運転を行わずにトリガーレバーを握りエンジンを高速運転すると、不意にエンジンが停止することがあります。

5) チョークレバーの操作2 [初爆音の後]

- 初爆音※がしてエンジンが始動した場合：
そのまま（約10秒）様子を見て、エンジンが止まらなければ、チョークレバーを下（開 ) にする
 - エンジンが始動しない、または数秒で停止する場合：
チョークレバーを逆にして、再度リコイルを引く
- ※ 次ページ参照

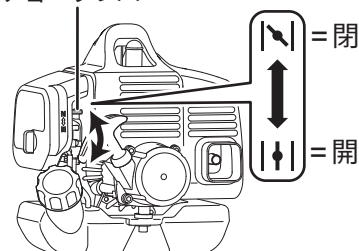
エンジンの始動／停止



ここがポイント！

エンジンを上手に始動するには、エンジンの「初爆音」を聞いてチョークレバーの操作をしてください。

チョークレバー

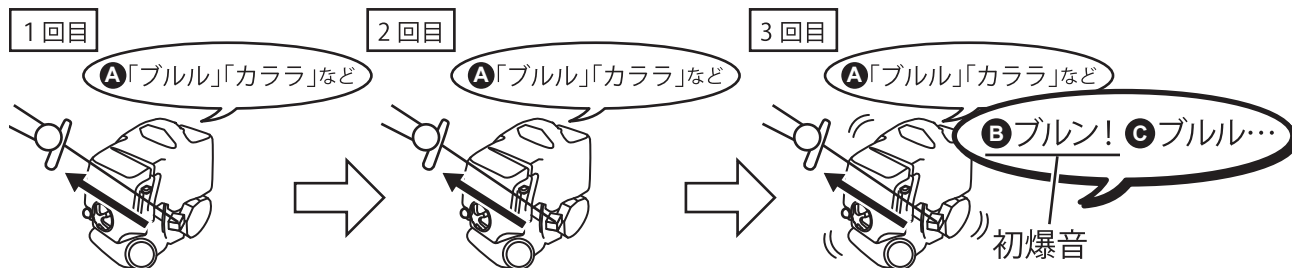


■ エンジンの音

リコイルを引くと「**A** エンジン内部が動く音」がします。

その音に加えて、エンジンが始動しそうになると、リコイルを引いたときに重い「**B** 初爆音」が鳴ります。「**B** 初爆音」を聞き、「エンジンが始動しそうな感覚」をつかむことが上手にエンジンを始動するポイントです。なおエンジンが始動すると、「**C** 爆発音」が鳴り続けます。

例：リコイルを引いて3回目で爆発音がして、エンジンが始動したときの音



■ チョークレバー（以下「チョーク」）の操作

状態によって次をお試しください。

状態	対処	解説
リコイルを何回も(5回程度)引いても B 初爆音がしない、または聞き逃した	チョークの位置を逆(上にしていただ下)にしてリコイルを引く	<ul style="list-style-type: none"> ・ チョークを上(閉)にしていた場合：チョークを上にしなくてもエンジンが始動する状態(エンジンが適温)です ・ チョークを下(開)にしていた場合：エンジン内部の温度が低いいため燃料の濃度が足りず、始動できない状態です
<p>例：チョークが上(閉)で1回目でB 初爆音が鳴ったが聞き逃した。その後チョークを操作し6回目で始動</p> <p>A にまぎれたB 初爆音を聞き逃したため、何回もリコイルを引き続けることに……</p> <p>おかしいと思ったときはチョークの位置を逆にしてみましょう。</p>		
チョークの位置が上(閉)で、初爆音がしたがエンジンが始動しない	チョークを下(開)にしてリコイルを引く	B 初爆音がした後チョークを上(閉)のままリコイルを引き続けても、燃料の濃度が濃すぎてエンジンが始動できなくなります。(点火プラグの「かぶり」)

「チョーク」とは：

寒いとき・エンジンが冷えているときに、エンジン内部への燃料の濃度を手動で調整するための装置

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

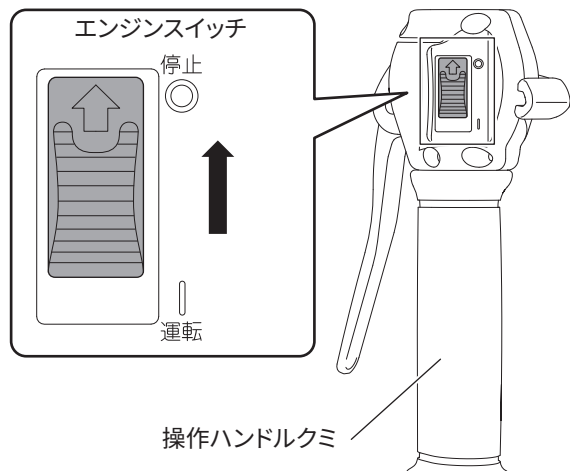
その他

エンジンの始動／停止

2. 停止

2.1 緊急停止

- 1) エンジンスイッチを上にスライドさせる
（「STOP」）

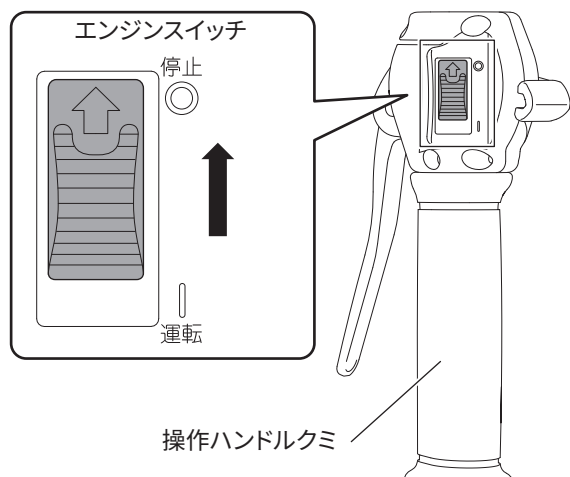


ここがポイント！

- 緊急停止する場合のみ行ってください。
通常は次の「エンジンの通常停止」の手
順で停止してください。

2.2 通常停止

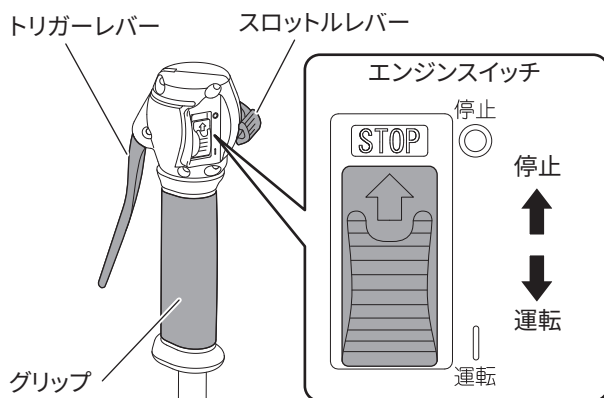
- 1) グリップを握ったままトリガーレバーを放
してエンジンの回転数を落とす
- 2) エンジンスイッチを上にスライドさせる
（「STOP」）



スイッチの操作方法

作業前に必ず4 ページ「安全上のご注意」をお読みください。

1. 操作ハンドルについて



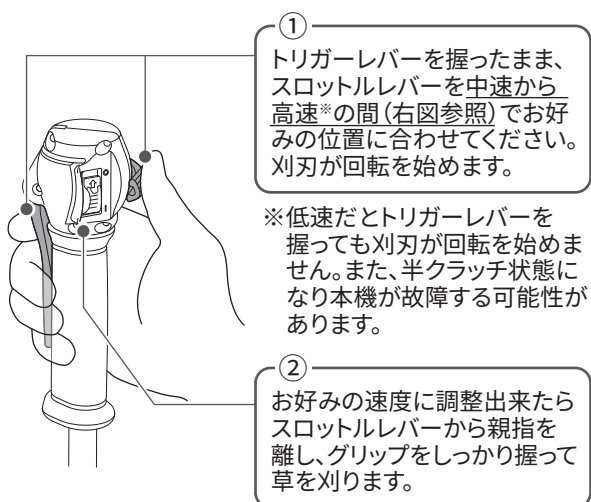
2. 基本の操作

1) 刈刃カバーを取り外す

2) エンジンを始動する

(19 ページ「1. 始動」) 参照

2.1 刈刃（チップソー）を回転させるには



ここがポイント！

- スロットルレバーを高速側いっぱいにしてトリガーレバーを握ると、スロットルレバーが少し低速側へ戻る場合があります。これは内部の調整機能によるもので、設定どおり高速に動作しています。また、その後に再び高速側いっぱいへ動かしても問題ありません。
- 運転中にスロットルレバーが大きく戻る、または動かしにくいときはネジの締め付けを調整してください(36 ページ「4. スロットルレバーの調整」参照)。

2.2 刈刃（チップソー）の回転を止めるには

グリップを握ったままトリガーレバーを放してエンジンの回転数を落とす

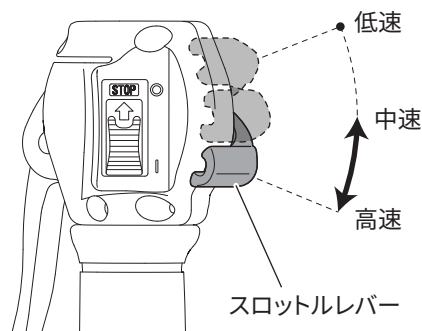
※ トリガーレバーを放しても刈刃はすぐに止まりません。手などを近づけるときは完全に停止したことを確認してからにしてください。

1) エンジンを停止する

(22 ページ「2. 停止」) 参照

3. 刈刃（チップソー）の回転速度の設定

スロットルレバーで設定します。



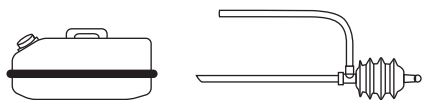
ここがポイント！

- 別売りオプションのナイロンコードを使用するときは、スロットルレバーを高速に保ってください。高速未満だと製品内部（クラッチ）が破損する可能性があります。

運搬

本機を車両などで運搬する場合には、次のことを必ず守ってください。

- 1) エンジン停止状態で、冷えていることを確認する
- 2) 燃料タンクに燃料が残っている場合、手順3) と4) を行う
- 3) 消防法に適合した燃料携行缶と、手動式ガソリン用ポンプを用意する



- 4) 燃料タンクキャップを開け、手順3) で用意した燃料携行缶にポンプを使用して燃料を移す
- 5) 本機が落下、転倒、破損などしないような場所を選んで積載し、ロープなどでしっかり固定する



ここがポイント！

- 本機を立てて運搬しないでください。
 - 衝撃を与えないでください。
 - 水にぬらさないでください。
 - 炎天下の車中など高温になる所、火気のそば、直射日光の当たる所に長時間放置しないでください。
-

作業前点検

作業前に必ず4 ページ「安全上のご注意」をお読みください。

本機が動かない、発熱や発煙、また音や振動など異常を感じたときは、直ちに使用を中止してください。

思わぬケガや事故の原因となります。エンジンを切り、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

1. 作業前点検

■ 草刈機

部位	項目
各部	ネジ、ボルト類のゆるみ点検
	割れ、欠け、変形、摩耗、損傷などの点検
スイッチ類	作動確認
刈刃（チップソー）	ボルト類のゆるみ点検
	正しい取り付けの点検
飛散防護カバー	取り付け位置、角度の点検
ギアケース	周辺の清掃

■ エンジン

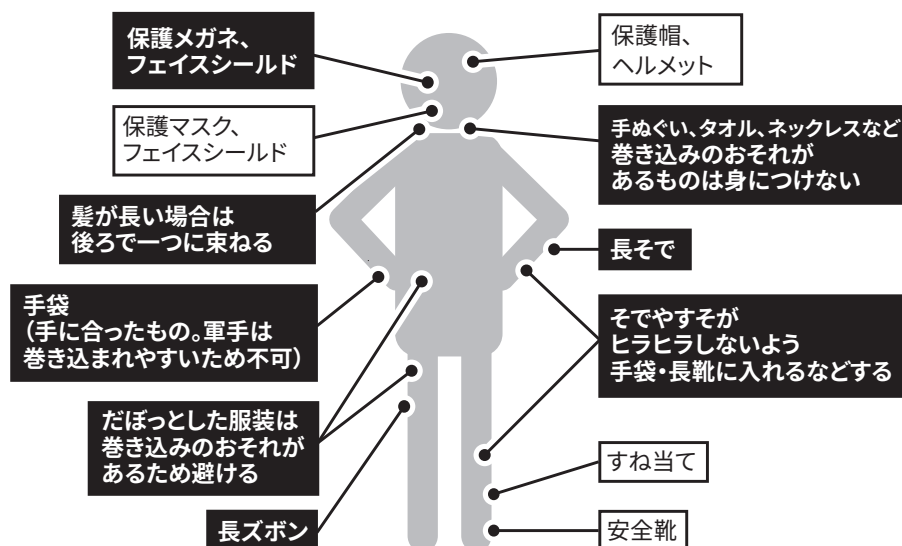
部位	項目
各部	ネジ、ナット類の緩み点検
燃料配管部	点検
エアクリーナー	点検
冷却風取入口、冷却フィン、マフラー周辺	点検・清掃

詳しくは31 ページ「定期点検を行いましょう」参照

2. 服装について

作業時は飛散物が飛んできたり、本機の回転する部分に巻き込まれたりなどケガをするおそれがあります。次のような安全な服装で作業を行ってください。

※保護マスクなどは付属していません。別途ご用意ください。



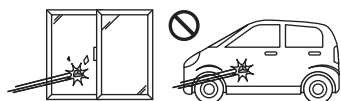
草を刈る

1. 作業時の確認事項



傷をつけたくない物が近くにないか確認する

飛散した障害物でガラスが割れたり、傷がつくおそれがありますので、板などで養生するか、移動させてください。



ガラス窓
車など



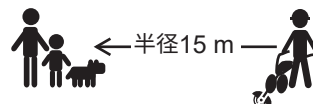
足元や周囲に障害物が無いことを確認する

作業場所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に充分確認してください。埋設物があると本機が触れ、感電や漏電・ガス漏れのおそれがあり、事故の原因になります。



半径15 m 以内に人や動物がいないことを確認する

歩道など通路の場所を確認してください。



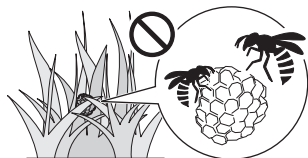
埋設物



ハチの巣やヘビ、その他動植物が隠れていないか確認する

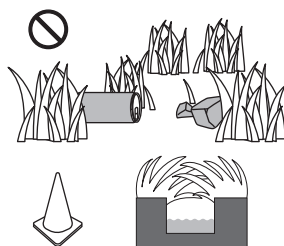
付近の高所や草むらの中を静かに下見をしてください。

作業音はハチに刺激を与え、ハチの出す警告音をかき消します。



小石や空き缶など障害物、地面の凸凹が草に隠れていないか確認する

飛散すると危険ですので、取り除いてください。



エンジンが過負荷になっていないか確認する

本機を傾けてブレードが地面と接触したり、草の密度の濃い場所で作業したりすると過負荷が発生してエンジン回転数が低下します。

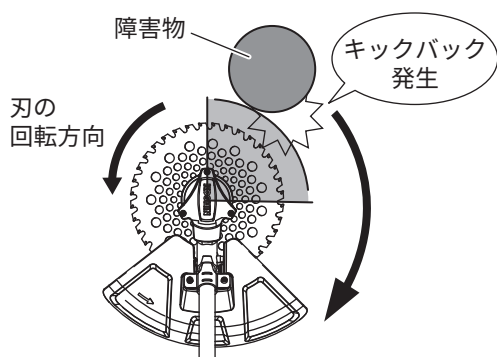
エンジン回転数が低下した場合は、ブレードを草から離して、エンジン回転数が高回転に復帰してから作業を再開してください。

草を刈る

作業前に必ず4 ページ「安全上のご注意」をお読みください。

2. キックバック（跳ね返り）について

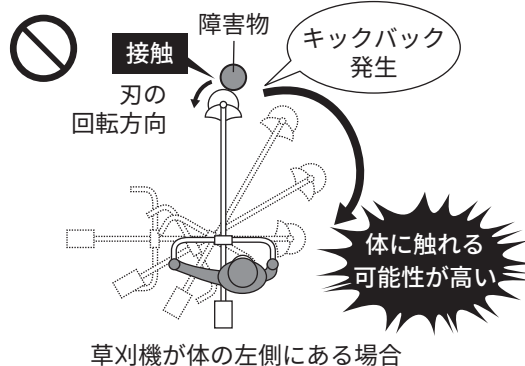
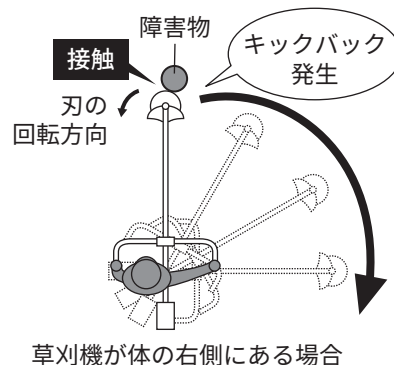
使用中に、刈刃（チップソー）の先端から右側部分が石などの障害物や硬い地面に当たると、刈刃（チップソー）の回転で障害物を駆け上がる力が働き、作業者の右側に向かって跳ね返すキックバックが発生します。



草などで隠れている小石や空き缶などに刈刃（チップソー）が当たって、キックバックを起こすことがあります。周りに障害物がないかよく確認してから作業してください。



万一キックバックが発生しても、危険性を最小限にするため、本機を身体の右側にして作業してください。作業者を中心にして、刈刃（チップソー）が回転するため、身体に直接接触する危険性が少なくなります。



はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

草を刈る

3. 草を刈る

- 肩掛けバンドを着用して本機は体の右側にし、両手でハンドルを保持し、両足は均等に体重がかかるように適当に開いてください。

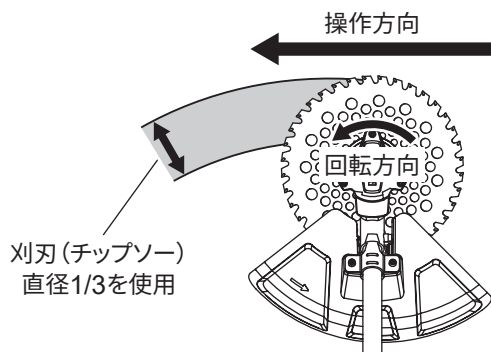


- 刈刃を地面から浮かせ、草刈り作業に合った回転数にします。回転数が低すぎると草が絡みつくことがあるため、注意してください。

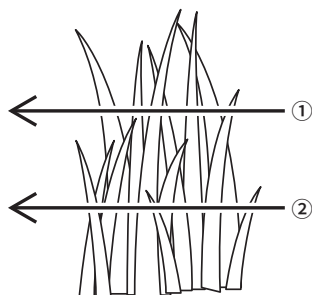
- 刈幅は1.5m程度で右から左へ、前進しながら草を刈ってください。その際刈刃（チップソー）を左側へ少し傾けると刈った草が左側に寄り、能率的に作業が行えます。



- 刈り残しをなくすため、刈刃（チップソー）の先端から1/3の範囲の草を刈ってください。

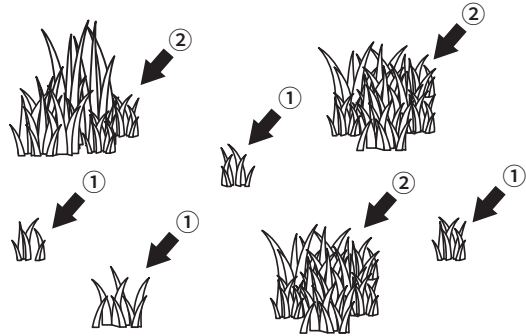


- 草が高く茂っているときは、複数回に分けて刈ってください。



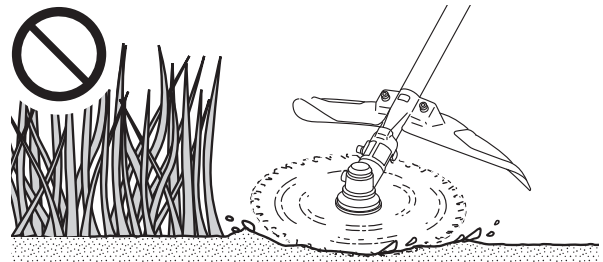
■ 上手に草を刈るには

- ①のような場所は作業に問題がない範囲の中速で草を刈ってください。中速で作業することで、1燃料タンクあたりの運転時間が長くなります。
- ②のような中速での作業で困難な場所では高速にしてください。



ここがポイント！

- 地面を掘り起こしたり、地面に押し付けたり、過負荷に注意をしてください。過度な過負荷は故障の原因になります。



■ 運転中の確認

- 燃料タンクが空になったら、18 ページ「給油」を参照して燃料を補給してください。
- 刈刃が回転している間は絶対に両手をハンドルから放さないでください。
- ときどきエンジンを停止し、ドライバーなどで付いた草やゴミを取り除いてください。冷却風取入口がふさがるとエンジンに冷却用の空気が取り入れられず、故障（焼き付き）します。焼き付きは保証対象外です。
- 草やゴミを取り除くときはドライバーなどを使用してください。水をかけるとエンジンが故障するおそれがあります。



お手入れと保管

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

1. お手入れ

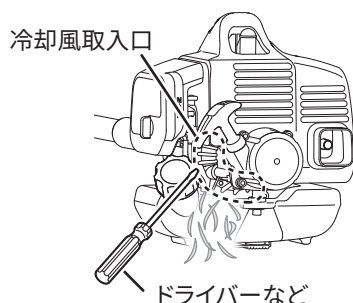
- 1) 雨などがかからず、平坦・水平で硬い場所に置く
- 2) 本機が冷めるまで待つ
- 3) 各部に付いた草やゴミを取り除き清掃する

次の場所は特にきれいに清掃してください
本機の故障を防ぎます。

1. エンジン周り

■ 冷却風取入口

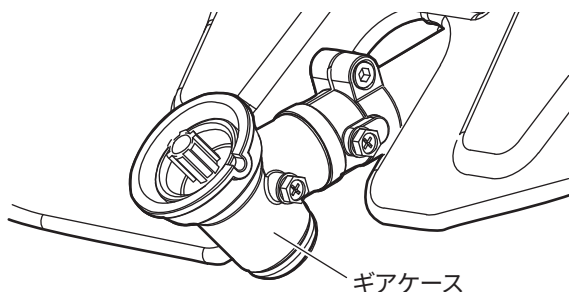
ドライバーなど先の細い工具を用いて冷却風取入口のカバーに付着した草やゴミをかき出すように取り除いてください。



2. 刈刃周り

■ ギアケース

(周囲および刃受金具を外した所)



ここがポイント！

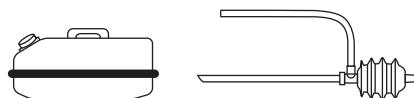
- 清掃するときは布などを使用してください。水をかけるとエンジンが故障するおそれがあります。また、土をかき出す際に棒などで強く押さないでください。
- ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。変色、変形、ひび割れの原因になります。
- 冷却風取入口がふさがるとエンジンが故障します。

4) 作業後の点検を行う

(31ページ表中「作業前後」参照)

燃料タンクに燃料が残っている場合、手順5)と6)を行う

5) 消防法に適合した燃料携行缶と、手動式ガソリン用ポンプを用意する



6) 燃料タンクキャップを開け、手順5)で用意した燃料携行缶にポンプを使用して燃料を入れ替える

お手入れと保管

通常の使用後は「保管」を、次回の使用が1か月以降になる場合は「長期保管」を行ってください。

2. 保管

1) 「お手入れ」をすべて行う

(29 ページ「1. お手入れ」参照)

2) 次のような場所に保管する

- 室内で換気が良い
- 湿気やほこりが少ない
- 湿度や温度が急変しない
- 直射日光が当たらない
- 水、塩分、火気、可燃性ガス、揮発・腐食性物質、金属粉がない
- 子ども、ペットが触れない
- 熱源のそばや、真夏の締め切った自動車内など高温になる所は避ける



ここがポイント！

- 本機を立てかけて保管しないでください。転倒し破損の原因となります。

3. 長期保管

1) 「お手入れ」をすべて行う

(29 ページ「1. お手入れ」参照)

2) 換気が良く、他の建物などから1 m 以上離れた場所で「始動」手順1)～6)を行う

(19ページ参照)

3) エンジンが「ガス欠状態」で停止するまで待つ（約30秒～1分）

4) プライミングポンプを押す

エンジンのフューエルリターンパイプから燃料タンク内に燃料が出なくなるまで行ってください。

5) エンジンが冷えるまで待つ

6) 点火プラグを外し、プラグ孔から新しいエンジンオイルを3～5 mL 注入する

7) リコイルを2～3回ゆっくりと引いた後、点火プラグを取り付ける

8) リコイルを引き、重くなった状態（圧縮状態）にする

9) こぼれた燃料、水、ほこりなどの汚れをきれいに清掃する

10) 保管する

(保管の手順2)「次のような場所に保管する」参照)

定期点検を行いましょ

本機を安全に、また快適にご使用いただくために定期点検を行ってください。
点検の結果、異常があった場合は本機を使用しないでください。

- 点検時期は表示期間または運転時間で実施してください。
- 表示時間を経過後すみやかに実施してください。

■ 草刈機

対象部位	点検項目	時期 ^{※1}		
		作業中	作業前後	25時間運転ごと
各部	ネジ、ナット類の緩み点検		●	
	割れ、欠け、変形、摩耗、損傷などの点検		●	
刈刃（チップソー）	ボルト類のゆるみ点検	●	●	
	正しい取り付けの点検		●	
飛散防護カバー	取り付け位置、角度の点検（11ページ）		●	
ギアケース	周辺の清掃		●	
	グリスの補給（35ページ）			● ^{※2}

■ エンジン

対象部位	点検項目	時期 ^{※1}				
		作業中	作業前後	3か月ごと または 50時間 運転ごと	6か月ごと または 100時間 運転ごと	1年経過 ごと
各部	ネジ、ナット類の緩み点検		●			
燃料配管部	点検	●	●			
	交換					● ^{※2}
エアクリーナー	点検（35ページ）		●			
	交換（35ページ）				● ^{※3}	
冷却風取入口、冷却フィン、マフラー周辺	点検・清掃（28ページ）	●	●			
点火プラグ	点検・清掃（35ページ）			●		
燃料フィルター	点検・清掃（35ページ）			●		
マフラー	点検・清掃			●		
	交換					● ^{※2}

※1 運転時間または期間のどちらか早く達した方で実施してください。点検間隔がそれ以前の間隔を超え次の間隔に達している場合は、それまでに含まれている項目は同時に実施してください。

※2 これらの項目は適切な工具と整備技術を必要としますので、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。
エンジンをいつまでも安全で快適に使用していただくために、部品交換を推奨いたします。

※3 エアクリーナーの交換は、エレメントのみ交換を行ってください。

「故障かな？」と思ったら（故障と処置）

お客様で分解・修理は絶対にしないでください。

点検・修理は本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

■ エンジン

症状	考えられる原因	処置	参照ページ
リコイルが引けない、または重い	エンジン内のサビ付き	お客様では修理せずに、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください	—
	エンジンの焼き付き		
エンジンが始動しない	チョークレバーの操作が適切でない	チョークレバーを適切に操作する	19
	燃料タンクに燃料が入っていない	燃料を給油する	18
	古い燃料（約1か月以上）使用によるエンジン不調	「長期保管」手順1）～5）を行った後、正しい燃料に入れ替える	18、30
	指定以外の燃料類を使用している		
	燃料フィルターにゴミが詰まっている	燃料フィルターを清掃する	35
	燃料フィルターが燃料の油面より上にある	燃料フィルターを燃料タンクの底に押し込む	
	エアクリナーの汚れ	エアクリナーの清掃	35
	点火プラグのかぶりなど	点火プラグの清掃・点検・交換	35
	マフラーの排気口にカーボンが詰まっている	お客様では修理せずに、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください	—
	キャブレターが詰まっている		
エンジンが数分動いた後止まる 始動するが、回転が上がらない、出力が充分でない	チョークレバーの操作が適切でない	チョークレバーを適切に操作する	19
	古い燃料（約1か月以上）使用によるエンジン不調	「長期保管」手順1）～5）を行った後、正しい燃料に入れ替える	30、37
	指定以外の燃料類を使用している		
	燃料の混合比が正しくない	正しい混合比の燃料に入れ替える	37
	燃料フィルターにゴミが詰まっている	燃料フィルターを清掃する	35
	エアクリナーの汚れ	エアクリナーの清掃	35
	冷却風取入口などエンジンの各部にゴミが詰まっている	ゴミを取り除く	28
	マフラーの排気口にカーボンが詰まっている	お客様では修理せずに、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください	—
	スロットルワイヤーの遊びが大き過ぎる		
運転中、回転が次第に下がる	指定以外の燃料類を使用している	「長期保管」手順1）～5）を行った後、正しい燃料に入れ替える	30、37
	エアクリナーの汚れ	エアクリナーの清掃	35

「故障かな？」と思ったら（故障と処置）

■ 本機

症状	考えられる原因	処置	参照ページ
刈刃（チップソー）が回転しない	スロットルレバーの位置が適切でない	中～高速でご利用ください。低速だとエンジンが始動しても刈刃が回らないことがあります。	23
草刈時に停止する	回転部、飛散防護カバーなどに異物が挟まっている	必ずエンジンスイッチを切り（STOP）、エンジンが停止した状態で行う	22
本機から異音／ 異常振動がしている	回転部、飛散防護カバーなどに異物が挟まっている	必ずエンジンスイッチを切り（STOP）、エンジンが停止した状態で行う	22
	刈刃（チップソー）が正しく取り付けられていない	正しく取り付ける	13
	ハンドル、ハンドル固定ハウジング、 その他締付け部のゆるみ	増し締めする	11
	刈刃（チップソー）の曲がり、破損	新しい刈刃（チップソー）に交換する	13、38

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

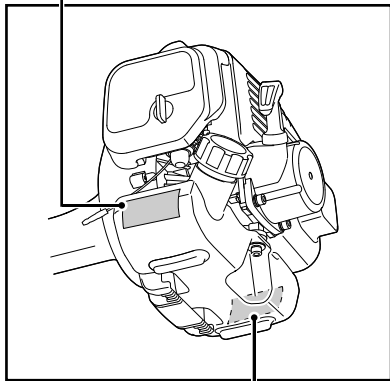
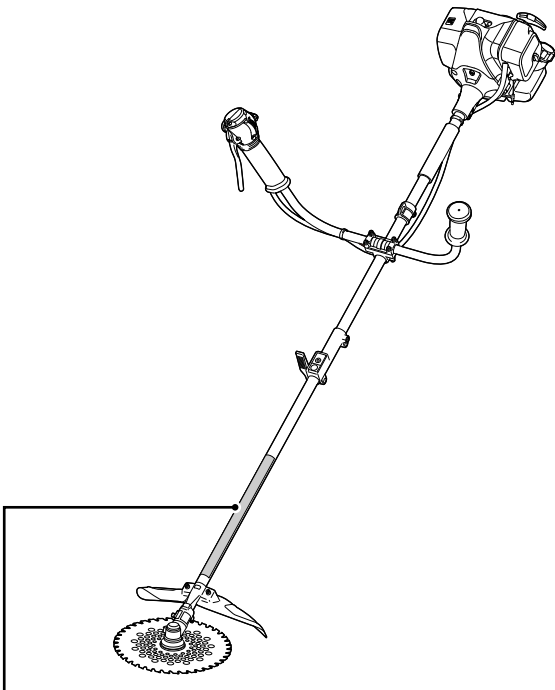
その他





整備

お客様が整備作業についてあまり熟知されていない場合は、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご依頼ください。

1. ラベル

- ラベルははっきり見えるように、常にきれいに保ってください。
- ラベルが汚れて見えなくなった場合や、汚れ・紛失などした場合には、購入店に注文し貼り替えてください。またラベルが貼られている部品を交換する場合、ラベルも新しいものに交換してください。





飛散防止カバー 取付位置	エンジン 草刈機 安全上の 注意	危険 始動の際や使用中は半径 15m 以内に他の人や動 物などを近づけない 飛散防止カバーを必ず指 定の位置へ取り付けてか ら運転を行う	警告 安全のため、保護めがね、イヤ ーマフ、すね当てなどの保護具を 必ず着用する 回転部からの飛散物に注意する 雨中では使用しない	キックバック（刈刃の跳ね返り）に注 意する。また、始動の際は刈刃が地面 などに接触していないことを確認する 回転部周辺に触れる時は、草がからむ などとして回転部が止まっても、必 ずエンジンを停止してから作業を行う	注意 運搬・保管時 は燃料を抜く 使用前に取扱 説明書を必ず 読む	取扱説明書の イラスト 冷却風取入口	冷却風取入口に付 いた草やゴミを取 り除いてください 取入口がふさがると エンジンが故障します	2サイクルエンジン 混合ガソリン 50:1※ ※2サイクル用オイル (FC,FD級)
-----------------	---------------------------	--	--	---	--	--------------------------	---	---

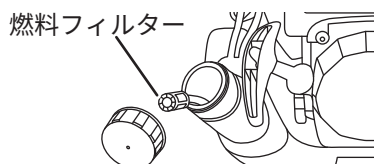
2. エンジン

2.1 燃料フィルターの清掃

用意するもの ・ 針金など ・ きれいな白灯油

1) 針金などで燃料注入口から引き出して、きれいな白灯油で洗浄する

汚れがひどいときは、フィルターを交換の上、タンク内も洗浄します。



2.2 点火プラグの清掃・点検・交換

用意するもの

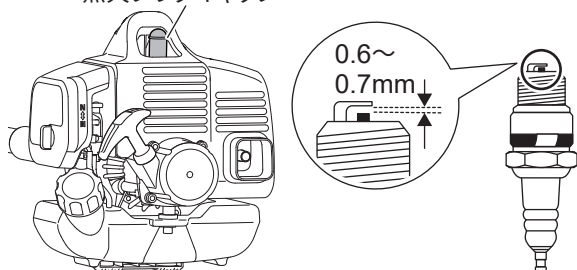
- ・ 指点火プラグ：37 ページ「1. 主な仕様」参照
- ・ プラグレンチ（付属品）



ここがポイント！

- ・ 故障の原因となるため、指定以外の点火プラグを使用しないでください。
- ・ 点火プラグがぬれているときや汚れているときは、布切れなどで拭いてください。
- ・ 点火プラグのすき間は0.6～0.7 mmで調節してください。

点火プラグキャップ

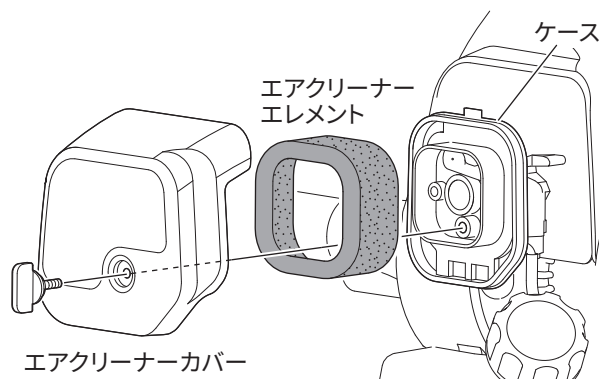


- ・ 点火プラグ交換後は点火プラグキャップをしっかり取り付けてください。
- ・ 点火プラグの清掃やすき間調節をしてもエンジンが始動しない場合は、新しい点火プラグに交換してください。

2.3 エアクリーナーの清掃

用意するもの

- ・ きれいな白灯油 ・ きれいなエンジンオイル



1) エアクリーナーエレメントを白灯油で洗浄し、よくしぼる

2) エンジンオイルに浸し、押しつぶすようにしぼる

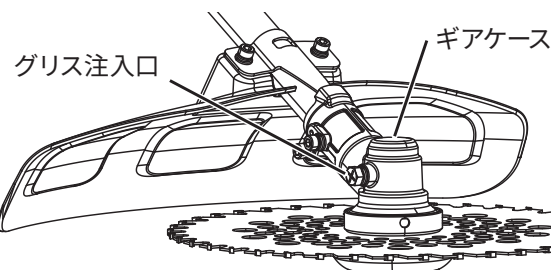
オイルが垂れない程度に余分なオイルを取り除いてください。

3) 元通りケースに組み込む

3. グリス補給(運転25時間ごと)

用意するもの

リチウム系万能グリス2号



1) ギアケース周囲にこびりついた草などをきれいに掃除する

ギアケース内部への異物の混入を防ぎます。

2) グリス注入口のボルトを外してグリスを注入する

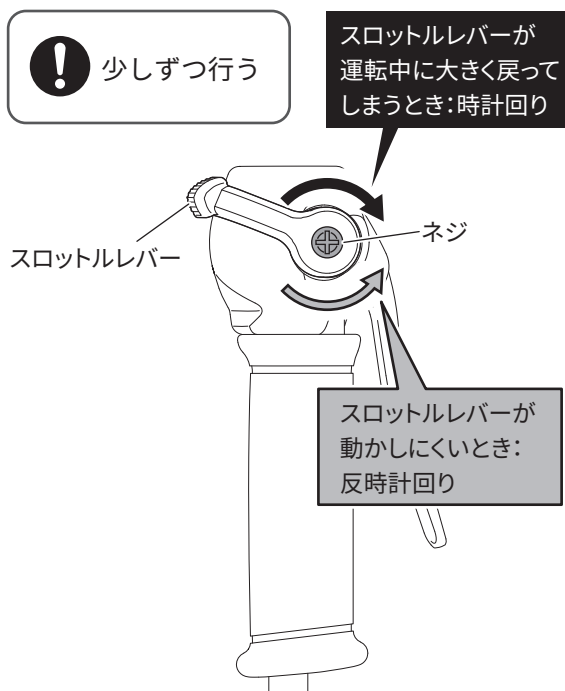
穴からグリスが少し出るまで注入してください。

3) 出てきたグリスを拭き取り、元通りにボルトを締め付ける

4. スロットルレバーの調整

用意するもの プラグレンチ（付属品）

以下を参考にネジの締め付けを調整してください。調整は少しずつ、様子を見ながら行ってください。



仕様

1. 主な仕様

機種名		ESC-26U
製品名		エンジン草刈機
用途		雑草の草刈り
草刈機	タイプ	肩掛け式
	ハンドル	U字
	シャフトタイプ	分割式
刈刃	使用刃物	チップソー
	刈込幅	Φ255 mm x 40P (刃数)
	刃物回転方向	反時計回り (使用者から見て)
エンジン	タイプ	空冷2サイクルガソリンエンジン
	モデル (メーカー：名称)	工進：KC26-S
	排気量	25.6 cm ³
	連続定格出力	-
	最大出力	0.77 kW (1.0 PS) / 7,500 rpm
	燃料	混合燃料 (2サイクルオイル混合ガソリン)
	混合比	50:1 (ガソリン：エンジンオイル)
	ガソリン	レギュラーガソリン
	エンジンオイル	2サイクル用エンジンオイル JASO規格FC またはFD級
	燃料タンク容量	0.45 L
	点火プラグ (メーカー：品番)	Lei Dian：L7TM 互換品 NGK：BPMR7A、CHAMPION：RCJ6Y
	始動方式	リコイルスターター方式
燃料消費目安		約 70 分 ※1
製品寸法：全長(L) × 全幅(W) × 全高(H)		1,830 x 630 x 400 mm ※2
分割寸法：全長(L) × 全幅(W) × 全高(H)	リヤ側	990 x 630 x 355 mm ※2
	フロント側	900 x 350 x 230 mm ※2
製品重量		5.4 kg ※3
周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値(a)		4.1 m/s ² ※4、5
備考		※1：標準付属の刈刃を使用し、運転時間の10%がアイドリング、90%が無負荷状態(8,000rpm)で運転し測定しています。 ※2：刈刃、飛散防護カバーを含みます。 ※3：ISO 11806に準拠して、刈刃、飛散防護カバー、肩掛けバンド、燃料を含まない状態での重量 (乾燥質量) です。 ※4：ISO 22867：2011に準拠して、周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値は測定しています。

※5 振動工具を使用する実使用上限時間について

振動工具を使用するにあたり、厚生労働省は1日の実使用上限時間や休憩時間について基準※を示しています。

(※ 平成21年7月10日付け基発0710 第1号または第2号)

使用者の健康を守るため、以下の内容を守ってご使用ください。

周波数補正振動加速度 実効値の3軸合成値(a)	1日の実使用上限時間(TL)	1回の連続使用時間	1回の連続作業時間後の 休止時間
10 m/s ² より小さい	2時間以内	おおむね30分以内	5分以上
10 m/s ² より大きい	下記の式で求めた「TL」時間以内		

・ 1日の実使用上限時間 (TL) を求める式：TL = 200 ÷ (a × a)

計算例：a=12 m/s²のとき、TL = 200 ÷ (12 × 12) = 約 1.3 時間

パーツのご注文は

パーツは、必ず指定のものをご使用ください。
パーツは購入店または弊社製品お取扱店を通じて
ご注文いただけます。
また、弊社ウェブサイトにてパーツ表、価格をご
覧いただけます。

1. ご注文時のお願い

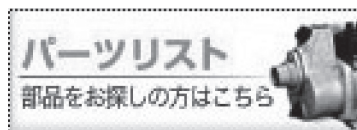
部品番号（7～9桁）または機種名・JAN、名称、
必要な個数を正しくお伝えください。

2. パーツ表・価格

1) <https://www.koshin-ltd.co.jp>へ
アクセス






2) トップページ「パーツリスト」バナー
をクリック



3) エンジンパーツリストをご覧の場合は、
続いて「エンジンパーツリスト」バナーを
クリック



3. 主なパーツ

名称		機種名・JAN	備考
交換用刈刃	φ255刈刃（チップソー）	機種名：PA-439 JAN：4971770 - 561076	本機の標準付属品と同じものです。 φ255 × 40P
	φ230刈刃（チップソー）	機種名：PA-386 JAN：4971770 - 560208	別機種の標準付属品で、本機にも使用可能 なものです。φ230 × 36P
	φ230刈刃（チップソー）	機種名：PA-527 JAN：4971770 - 561922	φ230 × 28P
	さし込み式ナイロンカッター	機種名：PA-529 JAN：4971770 - 562073	刈り込み幅：370mm 
	交換用ナイロンコード（20本）	機種名：PA-398 JAN：4971770 - 200722	PA-529に付属のコードでは使用環境により コード折れが発生しやすい場合があります。
固定ボルト		機種名：PA-390 JAN：4971770 - 560246	
ボルトカバー		機種名：PA-539 JAN：4971770-000766	
刈刃カバー		機種名：PA-391 JAN：4971770 - 560253	
キャリーバッグ		機種名：PA-402 JAN：4971770-560345	当社製草刈機の運搬以外には 使用しないでください 

保証書

レシート(販売証明書)と
共に保管してください

この保証書は本書に明記した期間、条件のもとにおいて、下記記載内容で無償修理をお約束するものです。なお、本書によってお客様の法律上の権利が制限されるものではありません。

保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本記載内容に基づき無償修理いたします。製品と本書、レシート(販売証明書)をご準備のうえ「工進修理受付窓口」へご相談ください。

機 種	エンジン草刈機 ESC-26U		※お買い上げ日		年	月	日
保 証 期 間	お買い上げ日より2年間		<div style="position: relative; width: 100%; height: 100%;"> <div style="position: absolute; top: 0; left: 0; width: 100%; height: 100%; background-color: #ccc; opacity: 0.5; font-size: 100px; text-align: center; line-height: 1;">本</div> </div>				
お 客 様	※お名前						
	※ご住所	〒					
	電話	()	※ 購 入 店	住所			
				店名			
				電話	()		

< 保証契約約款 >

※に記入のない場合は無効になりますので必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
 - 〈イ〉不適切な使用、改造、取扱説明書に記載されている保守・点検以外の分解や修理、弊社指定の純正パーツ以外を使用したことによる故障または損傷、日常点検やお手入れ、整備を怠ったことにより生じた不具合。
 - 〈ロ〉お買い上げ後の落下、運送等による故障または損傷。
 - 〈ハ〉火災・地震・水害・落雷・その他天災地変、公害、指定外の使用(電圧、周波数、使用液、使用燃料など)や、使用環境要因による故障または損傷。
- 保証期間内でも次の場合は補償いたしかねます。
 - 〈イ〉機能上影響のない感覚的現象(音、振動、操作感など)や使用損耗および部品寿命による不具合。
 - 〈ロ〉製品の不具合や使用によって生じた直接ならびに間接の損害。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 出張修理は対応いたしかねます(弊社指定製品を除く)。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。海外での購入ならびに使用については一切責任を負いません。
This warranty is valid only in Japan, also not covered for overseas purchase and use.
- 弊社の判断により、修理に代えて同機種との交換、または同等性能を有する他機種への交換となる場合があります。

株式会社 **工進** 京都府長岡京市神足上八ノ坪12

レシート(販売証明書) 貼付位置

お問い合わせ

【個人情報のお取り扱いについて】お客様の個人情報保護方針は、弊社ウェブサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

お問い合わせの際は、

- 型式(下図参照)、
- お買い上げ年月日、
- 故障状況 など

をお知らせください。

※本体または梱包箱に貼付しています。
一部ラベルのない製品もございます。

JAN  497177000001

XXX-9999-AAA-0 ← 型式

S/N  25A0999999AA00001

■ 製品・パーツの販売についてのお問い合わせは

購入店またはお近くの弊社製品お取扱店にご相談ください。

■ 製品の修理に関するお問い合わせは……「工進修理受付窓口」へ

電話 **0120-987-386** (通話料 無料) 平日: 9:00~17:00
会社休業日・土日祝祭日を除く。受付時間に変更がある場合は、弊社ウェブサイトにてご案内します。

ダイレクト修理 ※北海道・沖縄を除く

- 
①お電話または
メールで連絡


②修理品をお預け
(宅配業者が取りに
伺います)


③センターで
修理


④ご自宅まで
お届け


⑤お支払いは
クレジットカード
または代引き

■ 製品に関するお問い合わせは……「お客様相談窓口」へ

Q&A Eメール お客様 サポートページ 

Eメール pump@koshin-ltd.co.jp

電話 **0120-075-540** (通話料 無料)
平日: 9:00~17:00
会社休業日・土日祝祭日を除く。受付時間に変更がある場合は、弊社ウェブサイトにてご案内します。

株式会社 **工進**

〒617-8511
京都府長岡京市神足上八ノ坪12
<https://www.koshin-ltd.co.jp>